

平成 23 年度事業計画等について

平成 23 年度は、例年実施している「リフレッシュ瀬戸内」などの各種活動のほか、「東日本大震災復興支援・防災対策の推進」及び「官民連携の推進」に重点的に取り組むことが決議されました。

「東日本震災復興支援・防災対策の推進」では、長年の協議会活動により培われたネットワークを活かした防災対策の推進を進めます。海の路を通じた“平時の観光ルート”は、“非常時の物資等輸送ルート”として機能することが期待されることから、それらの両立を目指した活動・支援を展開します。

また、非常時の防災拠点としての役割を担うことが期待される“みなとオアシス”の認知度向上を図り、みなとまちの防災対策の強化を進めるため、平成 23 年 7 月 30～31 日に広島県三原市に開催される「がんばろう！日本 第一回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in 三原」を支援します。

その他、会員市町村が開催する各種の震災復興支援活動に対する支援を行うこと等を通じ、瀬戸内海全体の防災対策の推進を進めます。

「官民連携の推進」では、協議会の目的に合致し、かつ会員の推薦を受けた民間企業等に「海ネットサポーター」となってもらい、官民連携でより効果的な瀬戸内海の魅力発信を行うこと等を通じ、瀬戸内海のブランド化を目指します。

平成 5 年より、「受け継ごう、きれいで豊かな瀬戸の海」を合言葉に実施している海辺の清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」は、昨年までの 18 年間で、延べ約 163 万人の参加をいただき、合計約 1 万 6 千トンのゴミを回収しています。

今年度も引き続き、6 月から 8 月までの期間、260 以上の箇所において、市民ボランティアの皆さまのご協力の下、実施（全体拠点地：広島県尾道市瀬戸田サンセットビーチ）しています。

なお、今年度は、「リフレッシュ瀬戸内」や瀬戸内海の魅力発信に係る活動等、海ネットの瀬戸内海沿岸の海辺振興活動に対して、特定非営利活動法人 日本ビーチ文化振興協会から寄付をいただいております。貴重な活動資金として活用していくこととしています。

秋には、設立 20 周年記念行事を広島県大竹市で開催することを予定しています。その他、各種の活動を通じ、瀬戸内地域全体の更なる振興と発展を図ります。

「リフレッシュ瀬戸内」実施状況

日時：平成 23 年 7 月 3 日（日）8:30～9:30

平成 23 年度全体拠点地：瀬戸田サンセットビーチ（広島県尾道市）



小雨のなか、盛大に開会式が行われました。

あいにくの天候にもかかわらず、
1,050名の市民ボランティアの皆様
にご参加いただき、清掃活動を行いました。



あっという間に、1,140kgのゴミが回収され、
7月16日（土）の海開きの準備が整いました。

ご参加いただいたボランティアの皆様、暑い中の清掃活動ご苦労様でした。

みなとまちづくりを通じた地域振興と防災ネットワーク機能の強化

●瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会(海ネット)

(平成3年度設立、瀬戸内海沿岸の107市町村、11府県、国土交通省9地方機関で構成)

目的

瀬戸内海の沿岸市町村の相互連携を通じ、瀬戸内海全体の振興を図る。

協議会の活動指針

- 高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「海の路の構築」、並びに地震・津波に対応した**防災ネットワークの整備**
- 瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における**瀬戸内の魅力発信**
- 失われた干潟、藻場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の**瀬戸内海の環境創造**

主な成果

協議会活動を通じた首長間の連携深化により、海ネット会員である岡山県玉野市、大阪府泉大津市、兵庫県高砂市、福岡県苅田町を含む**11市1町による広域防災協定**を締結(平成22年6月)

『**みなとナビせとうち**』にて、瀬戸内海航路の運航状況をインターネットでリアルタイム情報発信。



「遊ぶ」「食べる」「知る」を切り口とした瀬戸内沿岸の**地域情報**をHPで発信。

瀬戸内航路について
総合的な情報提供を実施

『リフレッシュ瀬戸内』として、**海浜清掃活動**を実施。平成5年より、延べ約**163万人**が参加、約**16,200トン**のゴミを回収。



瀬戸田サンセットビーチ
(平成23年7月3日)

平成23年度の主な取り組み

東日本大震災の復興支援・防災対策の推進 瀬戸内海の海の路を通じた防災ネットワークの強化

広域防災協定の締結等

長年の協議会活動により培われた首長間の連携により、広域防災協定の締結に向けた取り組みを行う。

例: 瀬戸内海の有人離島を有する市町村及び近隣市町村を含めた協定の締結や、災害時の支援可能物資等を取り纏めた瀬戸内海防災「絆」リストの作成等

「非常時の物資等輸送ルート」及び「平時の観光ルート」の構築
広域防災協定を締結した自治体を中心として、非常時の防災ルート等としての可能性を検討、検証。

(仮称)がんばろう！日本

「第1回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in三原」

平成23年7月30、31日に広島県三原市で、全国各地のみなとオアシスが参加して開催されるイベントに海ネットが支援。震災復興支援及び瀬戸内海の魅力向上に資する活動。

官民連携の推進による瀬戸内海全体の地域振興 海ネットサポーター ～行政組織の「絆」ネットワークの利・活用～

目的に合致した事業を展開している民間企業

- ①海ネット会員からの推薦
- ②海ネット会員の承認(お墨付き)

海ネットサポーター

例: 瀬戸内海クルーズ商品の提供、滞在型観光に係る企画広告、海ネット会員(行政)と連携した地域振興イベントの実施等

行政と海ネットサポーターが連携し、瀬戸内海の魅力を発信すること等を通じて、瀬戸内海の海の路を通じた地域振興等を図る。
(瀬戸内海のブランド化に向けた取り組みの一環)

海ネット設立20周年記念行事

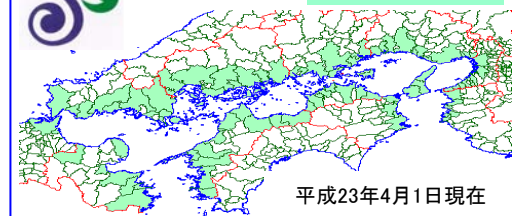
【開催時期】平成23年秋頃

【開催場所】広島県大竹市

【内容】「基調講演」「第5回瀬戸内海首長サミット」など内容検討中。



会員市町村



平成23年4月1日現在